

ミスミグループ本社 2020年3月期 第2四半期 連結業績

～世界貿易不況の影響で製造業が低迷し減収減益、
持続成長に不可欠な投資を厳選し継続実行～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2020年3月期 第2四半期累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減率
売上高	166,668	157,133	-5.7%
のれん等償却前 営業利益 ※	16,202	12,040	-25.7%
営業利益	15,896	11,737	-26.2%
純利益	11,573	8,510	-26.5%
1株当たり純利益	40.84円	30.00円	

※ Dayton Lamina Corporation 買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

<2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績ハイライト>

1. 連結売上高は対前年同期比 5.7%減収、今後の需要動向を踏まえ持続成長に不可欠な投資についてはテーマを厳選し実行

- 当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化に伴い中国などで製造業の設備投資意欲の減退が続いていることに加え、主要国における自動車関連の需要減少などにより一層減速しました。また、日本においても輸出環境が弱含み製造業全般が低迷し、生産用機械、自動車関連分野に影響が見られました。
- こうした環境の中、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献しています。当第2四半期においては、世界で進化する「デジタルものづくり」に向けた事業モデルの革新において、テーマを厳選しつつ取り組みました。基幹システムのクラウド化などによってIT基盤を強化し、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進し、国内外で物流拠点を拡張するなど、グローバル確実短納期体制の強化に努めました。しかしながら売上高、利益ともに製造業の設備投資需要低迷が継続したことにより、前年比減少となりました。
- この結果、連結売上高は1,571億、前年同期比5.7%（現地通貨ベース-3.9%）の減収となりました。利益面につきましては、売上減による収益の減少、および持続成長に不可欠な先行投資を厳選しつつも継続したことなどにより、営業利益は117億円（前年同期比26.2%減）、経常利益は115億円（前年同期比27.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は85億円（前年同期比26.5%減）となりました。

2. グローバルで製造業の需要が減退し、各セグメントで減収

- 2020年3月期第2四半期累計期間のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	56,068	49,836	-11.1%	-9.2%
金型部品事業	38,494	37,257	-3.2%	-0.8%
VONA事業	72,105	70,038	-2.9%	-1.4%
合計	166,668	157,133	-5.7%	-3.9%

- FA事業は、前年同期の大口受注による反動に加え、米州を除く主要地域の設備投資需要低迷が続いたことにより、前年同期比11.1%の減収となりました。
- 金型部品事業は、東南アジアにおける販売活動が総じて堅調だったものの、中国など主要国での自動車関連の市況悪化により、前年同期比3.2%の減収となりました。
- VONA事業は、品揃えの強化や積極的な販売拡大施策により、東南アジアや米州では売上が伸長したものの中国と日本の減速を補えず、前年同期比2.9%の減収となりました。

3. 米州は前年比で増収確保も他地域は低調に推移

- 2020年3月期第2四半期累計期間の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	85,461	83,088	-2.8%	—
海外	81,207	74,045	-8.8%	-5.1%
中国	30,933	26,840	-13.2%	-8.2%
アジア	25,409	22,274	-12.3%	-9.5%
アメリカ	13,496	13,946	+3.3%	+4.4%
ヨーロッパ	8,633	8,143	-5.7%	+0.8%
その他	2,734	2,840	+3.9%	+6.2%

- 日本では、FA・VONAを中心に製造業の需要低迷の影響で、前年同期比2.8%の減収となりました。
- 海外では、米州は増収が確保できたものの、ほかの地域が低調に推移し、前年同期比8.8%の減収となりました。

4. 第2四半期末の配当金は7円51銭、前年比2円70銭減

- 当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に勘案し、株主還元方針を定めております。
- 配当に関しては、配当性向25%を基準に決定しておりますため、当第2四半期末の1株当たり配当金を7円51銭（前年比2円70銭減）とさせていただきます。
- 期末配当予想については、前回予想を3円01銭下回る10円22銭（前年比77銭減）に修正いたしました。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	9円61銭	13円23銭	22円84銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%
今回修正予想	—	10円22銭	17円73銭
配当性向	—	25.0%	25.0%
当期実績	7円51銭	—	—
前期実績	10円21銭	10円99銭	21円20銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%

5. 2020年3月期連結業績予想を修正

- 2020年3月期の通期連結業績予想については、今後の市場環境や需要動向等を考慮し、2019年5月9日公表の業績予想から以下の通り下方修正いたします。

2020年3月期 連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想（A）	355,000	35,400	35,200	25,900	91.32
今回予想（B）	326,500	27,700	27,300	20,100	70.86
増減（B-A）	-28,500	-7,700	-7,900	-5,800	—
増減率（%）	-8.0%	-21.8%	-22.4%	-22.4%	—
前期実績	331,936	31,874	31,815	24,034	84.80

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2020年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2020年3月期第2四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
コーポレート・リレーション室 IR担当
Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7014
mail : cc@misumi.co.jp